

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成27年12月24日
【事業年度】	第98期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
【会社名】	福井鉄道株式会社
【英訳名】	FUKUI RAILWAY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 治夫
【本店の所在の場所】	福井県越前市北府二丁目5番20号
【電話番号】	(0778) 21-0700
【事務連絡者氏名】	総務部主任 辻本 賢作
【最寄りの連絡場所】	福井県越前市北府二丁目5番20号
【電話番号】	(0778) 21-0700
【事務連絡者氏名】	総務部主任 辻本 賢作
【縦覧に供する場所】	該当なし

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年6月25日に提出いたしました第98期（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するために有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の連結財務諸表については、新日本有限責任監査法人により監査を受けており、監査報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態の分析

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結貸借対照表

連結株主資本等変動計算書

注記事項

(税効果会計関係)

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第94期	第95期	第96期	第97期	第98期
決算年月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月
純資産額(千円)	974,467	846,434	835,480	662,559	502,648
総資産額(千円)	5,238,240	5,054,230	5,010,485	4,792,698	4,826,804
1株当たり純資産額(円)	1,312.43	1,139.65	1,126.94	893.99	678.55
自己資本比率(%)	18.5	16.7	16.6	13.8	10.4
自己資本利益率(%)	89.3	14.9	1.0	33.0	27.5

(訂正後)

回次	第94期	第95期	第96期	第97期	第98期
決算年月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月
純資産額(千円)	974,467	790,884	779,930	607,009	447,098
総資産額(千円)	5,238,240	4,998,680	4,954,935	4,737,148	4,771,254
1株当たり純資産額(円)	1,312.43	1,064.59	1,051.87	818.93	603.48
自己資本比率(%)	18.5	15.8	15.7	12.8	9.4
自己資本利益率(%)	89.3	14.3	1.1	31.5	30.4

第2【事業の状況】

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

(訂正前)

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、4,826,804千円（前連結会計年度末4,792,698千円）となり34,106千円増加いたしました。（以下略）

(訂正後)

(資産)

当連結会計年度末における資産の残高は、4,771,254千円（前連結会計年度末4,737,148千円）となり34,106千円増加いたしました。（以下略）

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の連結財務諸表及び事業年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、連結会計年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の連結財務諸表及び事業年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

なお、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、有価証券報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	1 65,173	1 62,547
長期貸付金	2,619	1,271
繰延税金資産	94,976	86,521
その他	148,032	97,358
貸倒引当金	33,435	7,240
投資その他の資産合計	<u>277,366</u>	<u>240,457</u>
固定資産合計	<u>3,168,776</u>	<u>3,092,056</u>
資産合計	<u>4,792,698</u>	<u>4,826,804</u>
負債の部		
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	284,370	284,370
利益剰余金	<u>377,209</u>	<u>535,553</u>
株主資本合計	<u>7,160</u>	<u>151,182</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,854	4,432
土地再評価差額金	4 659,250	4 657,743
その他の包括利益累計額合計	<u>654,396</u>	<u>653,311</u>
少数株主持分	1,003	518
純資産合計	<u>662,559</u>	<u>502,648</u>
負債純資産合計	<u>4,792,698</u>	<u>4,826,804</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	1 65,173	1 62,547
長期貸付金	2,619	1,271
繰延税金資産	39,426	30,971
その他	148,032	97,358
貸倒引当金	33,435	7,240
投資その他の資産合計	<u>221,816</u>	<u>184,907</u>
固定資産合計	<u>3,113,226</u>	<u>3,036,506</u>
資産合計	<u>4,737,148</u>	<u>4,771,254</u>
負債の部		
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	284,370	284,370
利益剰余金	432,759	591,103
株主資本合計	<u>48,389</u>	<u>206,732</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,854	4,432
土地再評価差額金	4 659,250	4 657,743
その他の包括利益累計額合計	<u>654,396</u>	<u>653,311</u>
少数株主持分	1,003	518
純資産合計	<u>607,009</u>	<u>447,098</u>
負債純資産合計	<u>4,737,148</u>	<u>4,771,254</u>

【連結株主資本等変動計算書】
 (訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
(中略)		
利益剰余金		
当期首残高	318,810	377,209
当期変動額		
当期純損失()	218,230	159,849
連結子会社の決算期変更による増減	5,891	-
土地再評価差額金の取崩	165,722	1,506
当期変動額合計	58,399	158,343
当期末残高	377,209	535,553
株主資本合計		
当期首残高	65,560	7,160
当期変動額		
当期純損失()	218,230	159,849
連結子会社の決算期変更による増減	5,891	-
土地再評価差額金の取崩	165,722	1,506
当期変動額合計	58,399	158,343
当期末残高	7,160	151,182
その他の包括利益累計額		
(省略)		
純資産合計		
当期首残高	835,480	662,559
当期変動額		
当期純損失()	218,230	159,849
連結子会社の決算期変更による増減	5,891	-
土地再評価差額金の取崩	165,722	1,506
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	114,520	1,568
当期変動額合計	172,920	159,911
当期末残高	662,559	502,648

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
(中略)		
利益剰余金		
当期首残高	374,360	432,759
当期変動額		
当期純損失()	218,230	159,849
連結子会社の決算期変更による増減	5,891	-
土地再評価差額金の取崩	165,722	1,506
当期変動額合計	58,399	158,343
当期末残高	432,759	591,103
株主資本合計		
当期首残高	10,010	48,389
当期変動額		
当期純損失()	218,230	159,849
連結子会社の決算期変更による増減	5,891	-
土地再評価差額金の取崩	165,722	1,506
当期変動額合計	58,399	158,343
当期末残高	48,389	206,732
その他の包括利益累計額		
(省略)		
純資産合計		
当期首残高	779,930	607,009
当期変動額		
当期純損失()	218,230	159,849
連結子会社の決算期変更による増減	5,891	-
土地再評価差額金の取崩	165,722	1,506
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	114,520	1,568
当期変動額合計	172,920	159,911
当期末残高	607,009	447,098

【注記事項】

(税効果会計関係)

(訂正前)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
繰延税金資産		
税務上の繰越欠損金	57,101	122,849
減損損失	186,627	179,062
退職給付引当金	100,020	87,024
役員退職慰労引当金	14,953	16,720
貸倒引当金	8,340	9,402
有価証券評価損	693	2,043
賞与引当金	9,443	5,479
その他	68,383	65,885
小計	445,562	488,468
評価性引当額	337,793	393,753
繰延税金資産合計	107,769	94,714
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	-	852
その他	11,019	9,726
繰延税金負債合計	11,019	10,579
繰延税金資産(負債)の純額	96,749	84,134

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度における繰延税金資産の純額は、連結貸借対照表の以下の項目に含まれております。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
流動資産 - 繰延税金資産	10,514	5,846
固定資産 - 繰延税金資産	94,976	86,521
流動負債 - その他	130	616
固定負債 - 繰延税金負債	8,610	8,849

(注) 2. 上記のほか、再評価に係る繰延税金負債を、前連結会計年度382,219千円、当連結会計年度381,346千円固定負債に計上しております。

(省略)

(訂正後)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
繰延税金資産		
税務上の繰越欠損金	60,487	122,849
減損損失	186,627	179,062
退職給付引当金	100,020	87,024
役員退職慰労引当金	11,566	16,720
貸倒引当金	8,340	9,402
有価証券評価損	693	2,043
賞与引当金	9,443	5,479
減価償却超過額	8,463	10,162
その他	12,833	10,335
小計	398,476	443,081
評価性引当額	346,256	403,916
繰延税金資産合計	52,219	39,164
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	-	852
その他	11,019	10,959
繰延税金負債合計	11,019	11,811
繰延税金資産(負債)の純額	41,199	27,352

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度における繰延税金資産の純額は、連結貸借対照表の以下の項目に含まれております。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
流動資産 - 繰延税金資産	10,514	5,846
固定資産 - 繰延税金資産	39,426	30,971
流動負債 - その他	130	616
固定負債 - 繰延税金負債	8,610	8,849

(注) 2. 上記のほか、再評価に係る繰延税金負債を、前連結会計年度382,219千円、当連結会計年度381,346千円固定負債に計上しております。

(省略)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 (訂正前)

前連結会計年度(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,258,079	2,896,207	5,154,287	314,324	5,468,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,145	223,843	235,988	176,872	412,861
計	2,270,224	3,120,051	5,390,276	491,196	5,881,472
セグメント利益又は損失()	382,935	20,390	403,325	34,165	369,160
セグメント資産	2,927,906	958,661	3,886,568	591,603	4,478,171
その他の項目					
減価償却費	121,097	21,431	142,529	10,083	152,612
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	137,930	6,447	144,378	5,405	149,783

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、自動車学校事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,178,659	3,064,799	5,243,459	195,452	5,438,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,648	170,497	182,145	179,709	361,855
計	2,190,307	3,235,297	5,425,605	375,161	5,800,766
セグメント利益又は損失()	376,283	25,470	401,754	28,965	372,789
セグメント資産	3,098,047	929,939	4,027,987	461,991	4,489,978
その他の項目					
減価償却費	105,528	18,758	124,286	6,101	130,387
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	152,212	9,465	161,677	4,659	166,336

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、自動車学校事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

なお、自動車学校事業は平成24年8月をもって事業廃止いたしました。

(訂正後)

前連結会計年度(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,258,079	2,896,207	5,154,287	314,324	5,468,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,145	223,843	235,988	176,872	412,861
計	2,270,224	3,120,051	5,390,276	491,196	5,881,472
セグメント利益又は損失()	382,935	20,390	403,325	34,165	369,160
セグメント資産	2,872,356	958,661	3,831,018	591,603	4,422,621
その他の項目					
減価償却費	121,097	21,431	142,529	10,083	152,612
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	137,930	6,447	144,378	5,405	149,783

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、自動車学校事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

当連結会計年度(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,178,659	3,064,799	5,243,459	195,452	5,438,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,648	170,497	182,145	179,709	361,855
計	2,190,307	3,235,297	5,425,605	375,161	5,800,766
セグメント利益又は損失()	376,283	25,470	401,754	28,965	372,789
セグメント資産	3,042,497	929,939	3,972,437	461,991	4,434,428
その他の項目					
減価償却費	105,528	18,758	124,286	6,101	130,387
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	152,212	9,465	161,677	4,659	166,336

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、自動車学校事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

なお、自動車学校事業は平成24年8月をもって事業廃止いたしました。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(省略)

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,886,568	4,027,987
「その他」の区分の資産	591,603	461,991
全社資産(注)	455,710	430,164
セグメント間取引消去	141,184	93,338
連結財務諸表の資産合計	4,792,698	4,826,804

(注)全社資産は、主として本社土地建物であります。

(省略)

(訂正後)

(省略)

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,831,018	3,972,437
「その他」の区分の資産	591,603	461,991
全社資産(注)	455,710	430,164
セグメント間取引消去	141,184	93,338
連結財務諸表の資産合計	4,737,148	4,771,254

(注)全社資産は、主として本社土地建物であります。

(省略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	893.99円	678.55円
1株当たり当期純損失金額 ()	294.91円	216.01円

(省略)

(訂正後)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	818.93円	603.48円
1株当たり当期純損失金額 ()	294.91円	216.01円

(省略)

独立監査人の監査報告書

平成27年12月24日

福井鉄道株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田光 完治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 健一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている福井鉄道株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の訂正後の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、その他の注記及び連結附属明細表について監査を行った。

連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、福井鉄道株式会社及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

その他の事項

有価証券報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の連結財務諸表に対して平成25年6月25日に監査報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. 連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。